（様式１６）

東京大学大学院薬学系研究科附属創薬機構　 御中

202x年　　月　　日

**化合物利用成果公表申請書**

貴機構から提供を受けた化合物サンプルを利用した成果を得ることができました。つきましては、当該成果を公表いたしたく、契約書／覚書第12条に従い、下記の確認事項を了承した上で申請いたします。

１　申請者

研究者名　　　　　　　　　　　　　　役職

機関名　　　　　　　　　　　　　　　部署

住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　郵便番号

電話番号　　　　　　　　FAX番号　　　　　　　　E-mailアドレス

連絡担当者／申請者代理人（必要に応じ記載して下さい。）

担当者名　　　　　　　　　　　　　　役職

機関名　　　　　　　　　　　　　　　部署

住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　郵便番号

電話番号　　　　　　　　FAX番号　　　　　　　　E-mailアドレス

２　BINDS課題番号

３　化合物サンプルの受付番号

４　成果公表化合物サンプルID　（下方向に列記して下さい。行数が増えても構いません。）

５　公表方法

□　学会発表

演題名

発表者名

学会名

開催日

□　論文・総説投稿

タイトル

著者名

雑誌名

投稿予定日

□　特許出願

件名

発明者

出願人

出願予定日

□　その他

公表形式

公表者名

公表日

６　確認事項

1）本申請は原則として成果利用（化合物情報を第三者に開示する時点：学会発表の場合は要旨提出、要旨に同情報の記載がない場合は発表日、論文の場合は投稿日、特許出願の場合出願日）の10日前までに行うことになっていることを了解する。

2）化合物サンプルID（T-番号）と構造式をリンクさせた形で公表してはならないことを了解する。

3）公表内容の全責任は公表者にあることを了解する。

4）論文投稿等の場合、受理後、掲載ページ等が判明次第、速やかに連絡を行うことを了解する。

5）本成果公表から30日以内に一般公開用報告書を契約書／覚書第12条に従って、提出しなければならないことを了解する。

6）前項の一般公開用報告書は成果公表日以降、ホームページや冊子等により、広く一般公開されることを了解する。

7）貴機構が運営改善の参考のために行う調査等に協力することを了解する。

8）公表成果創出に対する貢献度に応じた支援担当者との共著・共願または担当者への謝辞（貢献がない場合にはこれらは当然不要）の他に、化合物サンプル提供の補助事業である「日本医療研究開発機構（AMED）生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）」への謝辞を記載することを了解する。

　英文の場合：This research was partially supported by Basis for Supporting Innovative Drug Discovery and Life Science Research from AMED under Grant Number JP23ama121053 (support number xxxx). ←xxxxにはBINDSの課題番号を入力

2022年3月以前に支援が終了した課題の場合：

This research was (partially) supported by the Platform Project for Supporting Drug Discovery and Life Science Research from AMED under Grant Number JP21am0101086 (support number xxxx). ←xxxxにはBINDSの課題番号を入力、2016年度以前に支援終了の課題は"under"以下を削除

機構使用欄

貴殿の申請を検討した結果、公表することを認めます。

　　　　　 　　　年　　　月　　　日

確認： 東京都文京区本郷七丁目3番1号

国立大学法人東京大学　大学院薬学系研究科附属創薬機構

副機構長・特任教授　　　小島　宏建